

ITの利活用に関する制度整備検討会
(シェアリングエコノミーに関する検討状況)



平成28年3月31日
内閣官房IT総合戦略室

IT総合戦略本部におけるITの利活用に関する制度整備検討会について

(1) 第Ⅰ期検討会（平成27年10月末～同年12月中旬）

- 民泊を含む分野横断的な仲介事業者に対するルール整備等に関する基本的な方向性について検討
- Airbnb、KitchHike等の関係事業者からヒアリングを実施（合計7回）

➡平成27年12月10日に中間整理とりまとめを公表し、意見募集を実施※

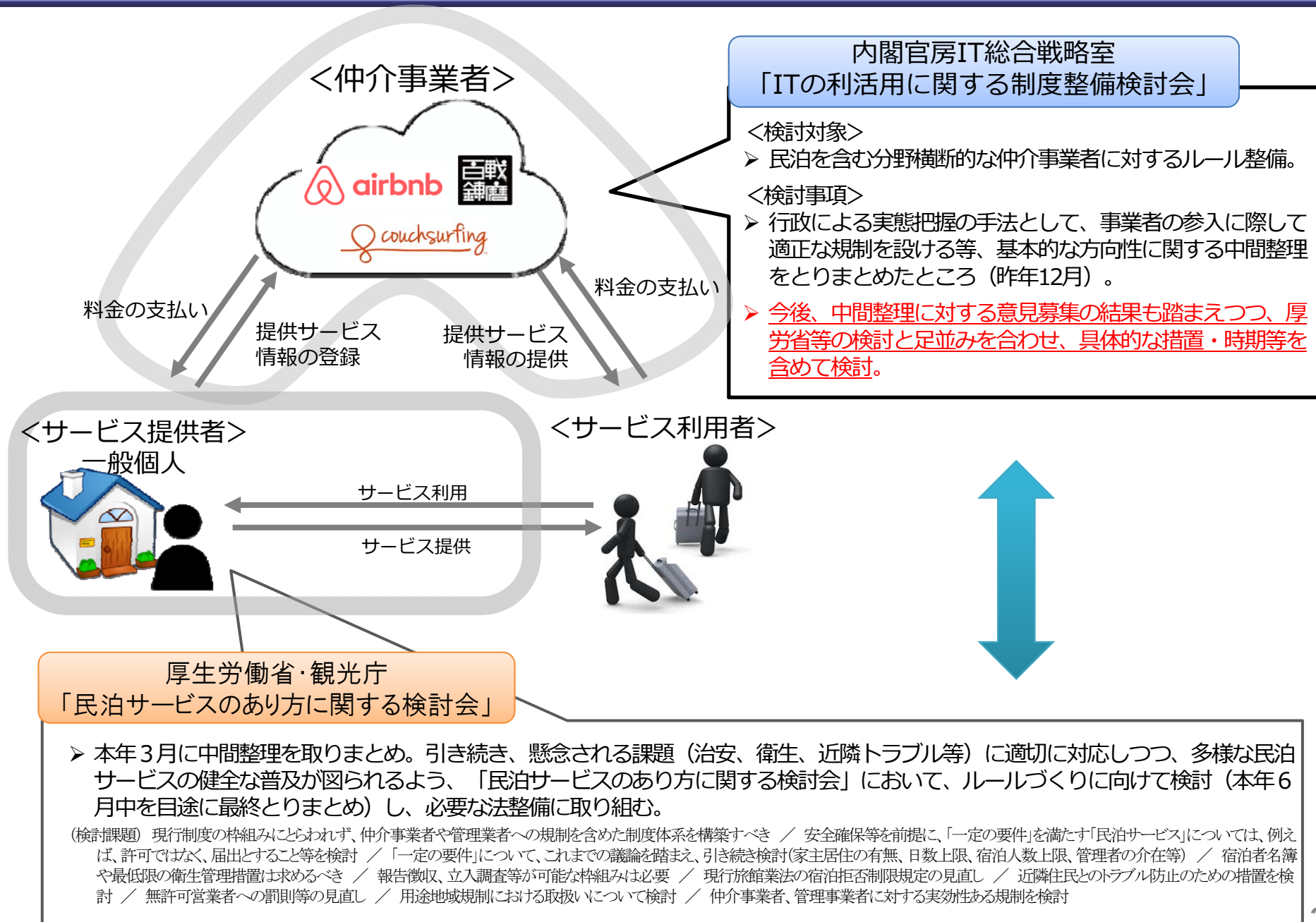
※平成27年12月11日～平成28年1月12日意見公募【総数：87件（団体33件、個人54件）】

(2) 第Ⅱ期検討会（平成28年2月下旬～）

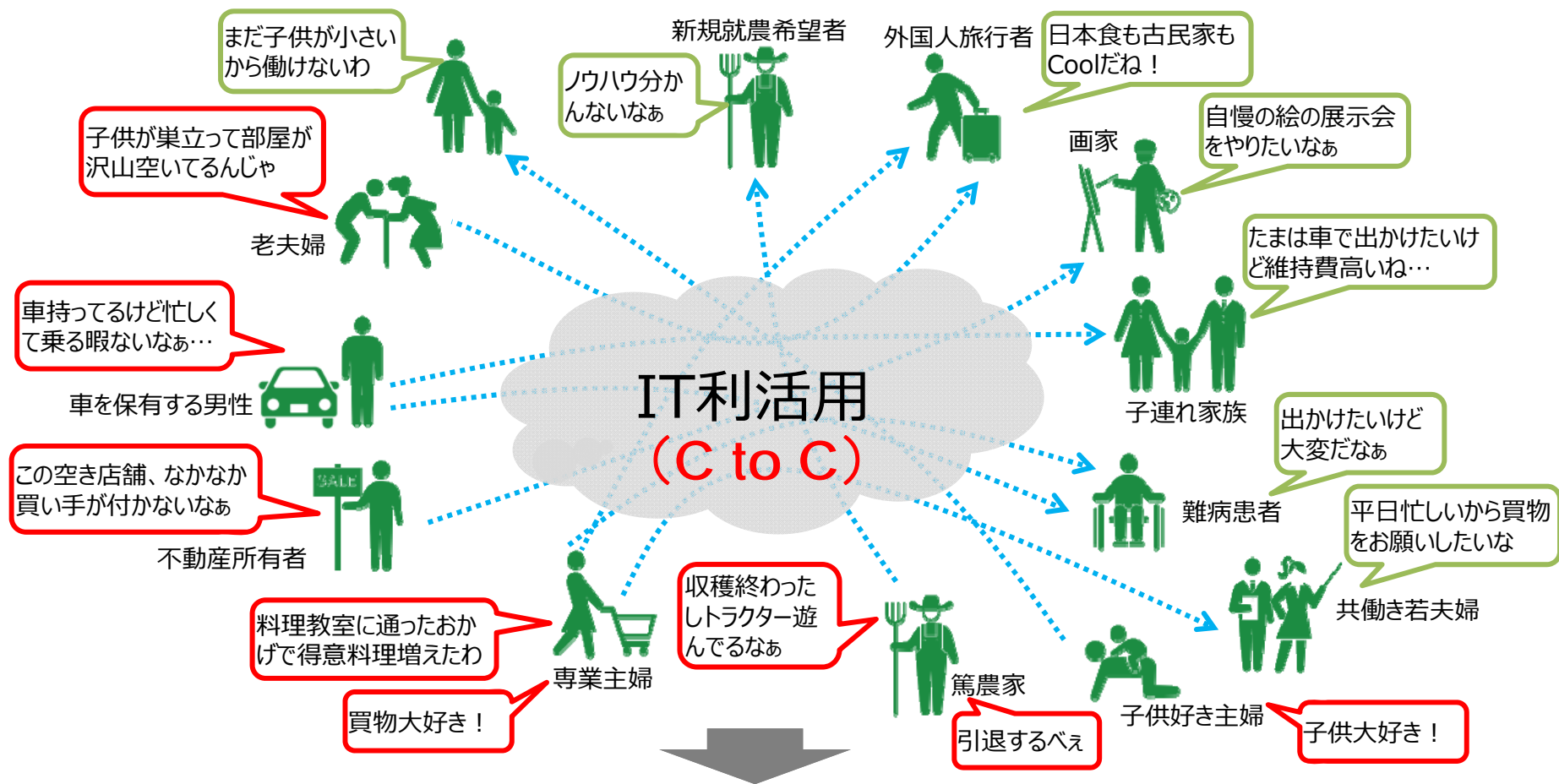
- 第Ⅰ期の中間整理及びその意見募集結果を踏まえ、さらに検討
- 厚生労働省等での民泊サービス提供者のあり方に関する検討状況をヒアリング
- シェアリングエコノミー協会など事業者等からヒアリング

➡4月上旬に第Ⅱ期中間整理をとりまとめ予定

[参考] 民泊に係る検討状況



ITを活用した様々な「C to C」サービスの出現



ITを活用した情報流通により、

- 日本中の眠れるスペース、モノ、人手、能力などをビジネスに
～遊休資産等の活用による市場の創出～

➡ **地方創生、一億総活躍社会への貢献**

【参考】

- ▶ 専業主婦の総数：
11,790,302人(平成22年国勢調査結果より)
- ▶ 持ち家を持つ老夫婦(65歳以上)のみの世帯数：
4,975,300世帯(平成25年住宅・土地統計調査より)
- ▶ 独り暮らしの高齢者(65歳以上)の世帯数：
4,790,768世帯(平成22年国勢調査結果より)

シェアリングエコノミーサービスの事例と振興の方向性

- 民泊以外においても、食事、家事代行など様々なサービスが登場。

#	分野	サービス概要	事業者の例
1	民泊	• 自宅等の空き部屋等を泊まりたい個人に仲介するサービス	Airbnb ROOMSTAY
2	食事	• 自宅での料理提供を旅行者等に仲介するサービス	TADAKU キッチンハイク
3	カーシェアリング	• 自家用車を借りたい個人に仲介するサービス	Cafore Anyca
4	車の相乗り	• 自家用車に相乗りしたい個人を仲介するサービス	notteco Hitch me
5	駐車場シェア	• 空き駐車場を借りたい個人に仲介するサービス	トメレタ SKYZ
6	家事代行	• 家事等のスキルを家事を依頼したい個人に仲介するサービス	家事代行ひろば タスカジ
7	ベビーシッター	• ベビーシッターを希望する個人に仲介するサービス	AsMama キッズライン
8	農地シェア	• 休耕地を借りたい個人に仲介するサービス	シェア畑
9	空間シェア	• 空き店舗等を利用を希望する個人に仲介するサービス	SHOPCOUNTER スペースシェア
10	外国人向けガイド	• 外国語での案内サービスを外国人旅行者に仲介するサービス	TOMODACHI GUIDE Voyagin

【振興の方向性】

- このようなITを利活用した「C to C」の新たなサービスの登場は、地方創生、一億総活躍社会への貢献に資するもの。
- こうしたサービスの萌芽期に、業法との関係によって、その展開を躊躇させることがないようにすべき。
- このため、民間団体等に自主的な対応を求めることが適当。

民間団体等の自主的な対応（分野横断的な自主ルールの整備等）を政府としても支援

シェアリングエコノミーサービスの発展に向けた政府の支援

政府の支援策

- ITを利活用した情報流通による、遊休資産等を活用した市場の創出は、政府が進める一億総活躍社会の実現等に資するものであり、シェアリングエコノミーサービスの振興を政府として支援。
- 民間団体（シェアリングエコノミー協会等）を中心に、内閣官房IT総合戦略室・経済産業省・総務省が支援し、自主的なルールを整備。
- 具体的には、内閣官房IT総合戦略室において、上記関係者等を構成員とする協議会を設置し、民間団体（シェアリングエコノミー協会等）を中心とした自主ルールの整備等を含め、以下について検討予定。

検討事項

- ① シェアリングエコノミーサービスに関する自主ルールの策定
- ② シェアリングエコノミーサービスと既存の法律との関係整理（ホワイトリストの作成等）
- ③ シェアリングエコノミーサービスの振興支援策

自主ルール（案）

- 本人確認
- 苦情対応等の相談窓口の設置
- 情報を適切に管理するための安全管理措置
- 損害賠償措置の確認 など